

# ミステリ読書案内

2024. 12. 9 発行元

第621号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

## 1993年のミステリ

「1988年のミステリ」からスタートして、今回はその6回目。平成5年である「1993年のミステリ」を取りあげる。例年の通り『このミス』ランキングを見ると傑作・名作がずらりと並んでいる。

### 読書中断期間3年目

1993年。私は忙しい時期が続く、ミステリの読書を一切止めてしまった年。中断期間に入って3年目ということになる。当然、右の表に示した『このミス・ベスト20』作品もずっと後になってから読んだ。未だに読んでいない本もそれなりにあり、そのままになっている。

この年は高村薫の『マークスの山』の年と言ってもいいだろう。あの緊張感の張り詰めた迫力ある描写が思い浮かぶ。稲見一良の『セン

ト・メリーのリボン』も印象深い作品である。中島らもの『ガダラの豚』はまだ読んでいない。

大沢在昌『新宿鮫シリーズ』の『屍蘭』と『無間人形』が出た年で、両作ともにシリーズ中の傑作になっている。後年、楽しませてもらった。

この年の江戸川乱歩賞は桐野夏生の『顔に降りかかる雨』、日本推理サスペンス大賞の優秀作が天童荒太の『孤独の歌声』、鮎川哲也賞が近藤史恵の『凍える島』だった。新しい作家たちが続々誕生してきていた時代。

### 1993年「このミス」ベスト20

1. マークスの山 高村 薫
2. キッド・ピストルの妄想 山口雅也
3. セント・メリーのリボン 稲見一良
4. B・D・T(掟の街) 大沢在昌
5. ガダラの豚 中島らも
6. 魔法飛行 加納朋子
7. 冬のオペラ 北村 薫
8. 幻の祭典 逢坂 剛
9. 異人たちの館 折原 一
10. 震源 真保裕一
11. 13人目の探偵士 山口雅也
12. 写楽百面相 泡坂妻夫
13. 慟哭 貫井徳朗
14. 聖アウストラ修道院の惨劇 二階堂黎人
15. 屍蘭 新宿鮫III 大沢在昌
16. 無間人形 新宿鮫IV 大沢在昌
17. 夏と冬の奏鳴曲 麻耶雄嵩
18. 探偵花ポパイアの少女 藤田宜永
19. 夜ごとの闇の奥底で 小池真理子
20. 真夜中の犬 花村萬月

### 大沢在昌『B・D・T(掟の街)』

双葉社から出た作品。私の手元にあるのは1995年のフタバノベルズ版。「近未来ハードボイルド」と書いてある。大沢在昌としては珍しい系列の作品に見えた。ハードボイルドではあるけれども、特殊設定の中での私立探偵物語。本書の続編が2007年に集英社から出た『影絵の騎士』。そちらも力作だ。舞台は未来の東京。不法在留外国人が急激に増えてしまい、已もう得ずに「新外国人法」が制定され、日本国民に組み入れてしまったのだが…。これが失敗のもとで、混血児が爆発的に増え、その孤児たちが「ホープレス・チャイルド」と呼ばれ、スラム街を形成し、悪の温床とも言うべき状態に陥ったのだった。そんな卑しい街の中を歩く私立探偵ヨヨギ・ケンの姿が…。

冒頭、ケンは何軒で身代金を届ける役目を依頼され、約束の場所で犯人側の二人組と出会い、合言葉を確認して五千万円を渡す。誘拐された娘の居場所を聞いて、そのカラオケボックスに向かう。着いてみるとそこには凶暴な男がいて散弾銃を発射してくる。ケンは拳銃を取り出して反撃して…。警察とのやりとりをして、やっと自分のオフィスに帰るという流れ。次の日には新しい依頼者が…。六本木のクラブで歌っていたホープレスの少女ガーナ・トゥリーの行方を探してほしいというもの。ケンの調査が始まる。そして争いに…。

### 北村薫『冬のオペラ』

中央公論社から出た作品。私の手元にある本は1996年のC・NOVELS版。上記の大沢『B・D・T』の激しく強烈な展開とはまったく違った趣の作品。三編収録の短編集。物語の視点は二十歳前の女性・姫宮あゆみ。叔父が社長の姫宮不動産の仕事の手伝いをしている。そのビルの二階に開業したのが巫(かんなぎ)探偵事務所。巫弓彦は「名探偵」を名乗っており、身元調査などの仕事は引き受けず、人知を越えた謎を求めている。したがって依頼は皆無で、巫はフリーアルバイターのようになってお金を得なければならない。姫宮あゆみはそんな探偵事務所を訪ねて、名探偵の「記録者」になることを申し出ることになる。果たしてアルバイトをしていない時間帯に依頼者は現れるのだろうか。

第一話の『三角の水』は姫宮不動産で働いている佐伯の妹が持ち込んできた話。大学院で化学の研究をしている妹は、研究成果を企業の方に秘密に漏らしているのではないかと嫌疑を掛けられたとのこと。教授が仕掛けたニセモノ文書が、妹だけがその部屋にいる時間帯に、アルコールの張られバット(皿)の中で燃え上がったという。他に誰もいないのだから疑われるのも当然なのだが、無実を証明するには…。あゆみはその佐伯の妹を名探偵・巫の元に連れていくと…。私は理科の教員なので見当はつく仕掛けなのだけれども…。